

環境だより



環境課 ☎66・1122

あるわ、あるわ

いろんなものが…

海に行くと、空き缶、ペットボトル、タバコなどではちろん、変わったところでは数百年前の焼き物の破片や外国語で書かれたごみなどが落ちていて、ごみの展示場のようなものです。

☆海はごみの展示場ではありません

海にごみが落ちていいるのは、この辺りではありふれた光景です。でも、ちょっと考えてみてください。もともと自然界に存在しない空き缶などのごみが、当たり

海にどうしてごみがある？

▶ 昨年の竹島小学校による海岸清掃活動



前のように海にあることは、不思議なことです。そのことに気付かず、海にごみがあっても何も感じなくなってしまうたら、とても悲しいことです。

海に行ったら、ごみを手に取り、どこから来た物が想像してみてください。そして、海を「ごみの展示場」としないために、ごみを捨てないようにとともに、みんなが、ごみを拾えば、きれいになるのではないのでしょうか。

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

「先生、心拍が止まりそうです。」よし、電気ショックいくぞ。みんな離れろ！」と、ドラマの一場面のような光景が、皆さんの日常生活のすぐそばで起こっていると想像できますか。

突然死の主な原因である「心室細動」によって、年間約5万人の方が亡くなっています。心室細動とは心臓がけいれんしてポンプとしての役割が果たせなくなることです。この状態になると、助かるチャンスは1分経過するごとに10パーセントずつ失われ、10分後にはほとんどの人が死に至ります。

この心室細動には「電気ショック」が効果的ですが、

あなたもできます 電気ショック

▶ 市役所に設置されているAED



今では誰でも行うことができることをご存じでしたか。

平成16年7月から、街中に設置されたAED（自動体外式除細動器）によって、特別な講習を受けなくても誰でもいつでも電気ショックをできるようにになりました。

使用方法はとっても簡単です。AED本体の電源を入れ、2枚のパッドを倒れた人の胸に貼り付け、あとは機械の音声指示に従いながら、ショックが必要ならば「通電ボタン」を押すだけです。AEDは簡単に使用でき、何よりも大切な命を迅速に救うことができるのです。

今、さまざまな施設にAEDが設置され始めています。緊急の場合には率先して使用してください。あなたの大切な人の命を救えるのはあなたなのです。